



2025年
4月9日
No.A24-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2025年3月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・3月19日(水)、(羽田 浩二 2025年日本国際博覧会政府代表「いよいよ開幕!大阪・関西万博」(於:オークラ東京)



<要旨>

2025年4月13日に開幕する大阪・関西万博につき、開催概要や各種パビリオン・イベントの内容、また万博の意義と魅力等に関して詳細な説明がなされた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・3月12日(水)、馬越 正之 駐レバノン共和国特命全権大使「最近のレバノン情勢」(Zoom形式)

<要旨>

大使より、レバノンが直面する政治経済社会危機、並びに、それを受けた新大統領の選出やイスラエル・ヒズブッラー戦争を含めた内外政の動向に関し、詳細かつ包括的な説明がなされた。質疑では、治安・経済情勢、IMFからの融

資問題、対外援助動向、及び、ヒズブッラーを巡る動き等につき多数の質問がなされた。



・3月28日(金、16:30~18:00、中東情勢オンライン講演会(新居 雄介 駐イスラエル特命全権大使「イスラエルを巡る中東の地政学的変化とイスラエルの潜在性」)(Zoom形式)

<要旨>

大使より、イスラエルの内政や経済、産業の動向等に関し、詳細かつ包括的な説明がなされた。質疑では、連立政権の行方や野党の動向、イスラエル・レバノン関係等につき多数の質問がなされた。



(3) 研究員発表会

・3月7日(金)、主任研究員 金子 真夕「トルコ外交の現在 -地域・周辺諸国との関係再構築」、主任研究員 高橋 雅英「UAE・中国のクリーンエネルギー協力」(Zoom形式)



<要旨>

クルディスタン労働者党(PKK)を取り巻く最近の情勢、特にオジャラン党首の武装解除と自己解散呼びかけ、それを受けた停戦を巡る動きについて説明した後、トルコ外交への影響について考察した。質疑では、PKKと民族主義者行動党(MHP)及び人民平等民主主義党(DEM)との関係、イラク・クルディスタン地域への影響等の質問が出た。



<要旨>

UAEのエネルギー政策を説明した上で、UAEが中国と太陽光発電事業や低炭素エネルギー運搬船調達等の分野におけるクリーンエネルギー協力を進める背景を考察した。質疑では、UAEとカタルのエネルギー協力関係、UAEのサ

ブサハラ諸国への投資状況等の質問が出た。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2025年3月号(2025年4月9日付)

1. ガザ戦争：2月の動き 自己保身と政権維持を最優先するネタニヤフ首相
2. エジプト：ガザ復興・再建計画とエジプトの基本姿勢
3. イエメン：米国のイエメン空爆激化とフーシー派の軍事活動再開
4. トルコ：フィダン外相とルビオ米国防長官との会談
5. シリア：治安と社会情勢の悪化
6. リビア：10年ぶりに東部マブルーク油田での生産が再開
7. イラン：ヘンマティー経済財政相が罷免、ザリーフ副大統領が辞任
8. アフガニスタン：囚人釈放を経てターリバーン・米国関係に改善の兆し
9. サウジアラビア：ウクライナ停戦に向けた米・露・ウ間協議をホスト

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- ・No.132「トルコ：PKKのオジャラン指導者が武装解除を促す声明を発表」(主任研究員 金子真夕、3月3日)
- ・No.133「トルコ：PKKが停戦を宣言」(主任研究員 金子真夕、3月3日)
- ・No.134「パレスチナ：臨時アラブ首脳会議がガザ地区管理案を採択」(協力研究員 高岡豊、3月5日)
- ・No.135「シリア：沿岸部で治安部隊が民間人

- を多数殺害」(協力研究員 高岡豊、3月11日)
- No.136「イラン：米国・イラン間の核交渉を巡る動き」(研究主幹 青木健太、3月14日)
 - No.137「イスラエル：アゼルバイジャンとの新たなガス田開発事業」(主任研究員 高橋正英、3月18日)
 - No.138「パレスチナ：イスラエルによるガザ地区攻撃再開」(協力研究員 高岡豊、3月19日)
 - No.139「イスラエル：宗教右派政党「ユダヤの力」が政府復帰を発表」(研究主幹 高尾賢一郎、3月19日)
 - No.140「トルコ：イマムオール・イスタンブール市長の逮捕」(主任研究員 金子真夕、3月24日)
 - No.141「イラン：米国の対イラン追加制裁、中国精油会社が初の対象に」(主任研究員 高橋雅英、3月26日)
 - No.142「ヨルダン：カタール産ガスをヨルダン経由でシリアに供給へ」(主任研究員 高橋雅英、3月27日)

※内容はホームページをご参照ください。
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) 中東分析レポートの発行 【会員限定】

- No.10「テヘランの女性たちとヘジャーブが映し出すイラン社会の変容」(3月18日)
- No.11「シリア政変を受けた各国クルド人勢力への影響」(3月26日)

※内容はホームページをご参照ください。
(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(5) その他の活動

- アゼルバイジャン人・イラン人研究者との円卓会議



3月24日(月)、アゼルバイジャン外交アカデミーのヴァリエフ教授とロンドン大学のアラヴィー講師を交えた円卓会議を開催し、当会研究員が意見交換を行った。

• バーレーン人研究者との意見交換

3月25日(火)、英国国際戦略問題研究所のハサン・シニアフェローが来訪し、当会研究員と意見交換を行った。



3. その他

(1) 要人往来

- 17日、岩屋外相は、イランのアラーグチー外相と電話会談を行った。

(2) 外務省人事

- ・3月14日（金） 離任
駐モロッコ大使 倉光秀彰
駐オマーン大使 山本条太

4.4月の予定

- ・4月18日（金）、9:00～10:00、於：オークラ
東京プレステージタワー7階「メイプル」、ト
ップ・ミーティング（小池 百合子 東京都知
事「持続可能な未来を先導する東京 ～「伝統」
と「革新」で魅力を高める～」）*法人会員限
定
- ・4月24日（木）、16:00～17:30、中東情勢オン
ライン講演会（新村リビア大使 駐リビア特
命全権大使「最近のリビア情勢」（仮））

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更
になることもございますのでご了承ください。
また、この他にもイベントを開催するこ
ともございます。詳細等と併せまして、配信
メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。